

北上市議会産業建設常任委員会と北上工業クラブとの意見交換会概要報告書

1 テーマ

北上市の工業振興の現状と課題について

2 開催日時

平成 26 年 2 月 4 日(火)午後 5 時から 6 時 30 分まで

3 開催場所

幸楼

4 次第

(1) 開 会

北上市議会産業建設常任委員会 副委員長 武 田 勝

(2) 挨拶

①北上市議会産業建設常任委員会 委員長 八重樫 七 郎

②北上工業クラブ 会長 谷 村 久 興

(3) 意見交換会（進行 産業建設常任委員会 委員長 八重樫 七 郎）

(4) 閉 会

5 意見交換会の概要について

【現状と課題について・・・北上工業クラブから】

①工業団地周辺の環境整備について

・市内には工業団地が 10 か所あるが、通勤の際の道路状況（アクセス）が悪い。特にも、国道 4 号線が 1 車線のところは冬場でなくても渋滞がひどい。国にお願いすることだとわかっているが、早急に解消していただきたい問題であるので、市からも働きかけてほしい。

・工業団地内は、冬は雪の吹き溜まりができ、通行に支障をきたすところがあるので、防雪フェンスの設置があればいいと思っている。また、転勤して北上にきている社員にとっては冬道が非常に怖いと言われている。

・事業操業当時と周りの住宅環境がかなり変わっており、4 戸だった住宅が今は 130 戸以上で、さらに宅地造成が進むと、配慮しているつもりだが騒音などの問題が懸念される。工業専用地域ぎりぎりの宅地造成については、工業団地と住宅地の緩衝地帯を設けないと、あとから造成される住宅地への配慮も必要

になると企業活動に支障をきたす。都市計画の際には、用途指定について地図上で見えない部分もあるので考慮してほしい。

- ・市内循環バスを整備してはどうか。渋滞緩和のため、エコな通勤の手段として、また出張で遠方から北上にくる方の交通手段として駅から工業団地を通るルートなど、企業からアンケートをとってニーズを調査するなど検討してみてもどうか。

- ・後藤野工業団地内の下水道整備について、団地整備の時には下水道が整備される予定と話されたと記憶しているが、いまだに整備されていない。会社の処理施設は社員の増加により会社設立の際の施設では小さく、処理を頻繁に頼む必要があり、その分経費もかかっている。

- ・工業用水がひかれていない工業団地は高い上水を使用しているのも、ぜひ工業用水を整備してほしい。

- ・産業廃棄物処理について、会社の操業当時と法律が変わり、かなり厳しくなっていて、処理経費が莫大にかかり苦慮している。

②人材確保について

- ・製造業、小売業は人材不足の状況である。企業の誘致が決まると、そちらに人が流れてしまう。これからの少子高齢化の時代の雇用、雇用形態を考えた誘致活動も必要ではないか。

- ・製造業離れしている若者を北上に定着させるような取組みを考えるべきである。

- ・若者が北上に定住したいと思うような環境作りが必要である。

- ・ものづくりに興味を持ってもらうような場の設定が必要。中学生の職場体験はあるが、もっと小さいときから北上にはこういう産業もあるよということをPRしていくべきである。

③工業振興の観点から

- ・工場の自家発電装置について、補助があれば企業活動が強くなると思う。

- ・北上の製造業は完成品を見ることができないというのが欠点である。（部品等の製造などではものづくりといってもピンとこない。）

- ・分析器関係の充実をして品質保証をバックアップし、北上のものづくりのレベルアップを図る体制を強化してほしい。

- ・製造業、食品関係など北上の企業はバランスがとれていると思うが、農業の振興も関連産業にとって必要である。

・市の発注工事が地元企業でない大企業にもっていかれることが多い。地元への発注を増やしてほしいし、受注しても外国並みの安い単価での設計なので、単価の見直しをしてほしい。

④企業の現状について

・4月の消費税増税を前に、駆け込み需要が増えていて、工業がフル稼働状態であるが、4月以降の落ち込みが予想され、回復がどれくらいでできるのか、また、その間の社員体制をどうするのか模索中である。

・電気料金の値上げにより経営が大変である。土日に工場を稼働させることで電力会社から補助がでるが、億単位の料金を支払って、補助がくるのは数百万なので、あまりメリットとしては大きくない。土日出勤のためには子供を預ける施設が必要な従業員もいて、土日の保育所の開設があると助かる。

・岩手県全体でみると、農業生産の減少、水産業も震災からの復活がまだまだの状況で、流通関連の産業もそれに伴って業績が良くない。

⑤その他

・子育て環境について、少子化とは言われるものの、産婦人科医、小児科医、保育所を充実させるべき。受け入れ態勢が大事である。

・工業団地造成に多額の資金をかけているのだから、とにかく企業誘致を頑張ってもらいたい。

【産業建設常任委員からの感想・意見等】

○電気料金・水の確保・産業廃棄物処理について

・工業用水の件は、以前から県に強力に要請をしている事項である。工業用水の安全確保は、工業都市である北上市にとって重要な課題であると認識している。

・電気料金や産業廃棄物処理に係る経費の増加が企業活動に支障をきたしているという現状を伺い、企業努力だけでは立ち行かない部分で苦勞されていることを認識させられた。

○工業団地周辺の環境整備について

・除雪については、通勤通学者の安全確保のために早く丁寧に行ってほしい旨、改めて市に伝えたい。また、防雪柵の要望は市内各地から出されている。防雪柵があれば、除雪効率が良くなるので市に対して働き掛けたい。

・いわゆる産業道路については、歩道がなく高校生の通学があり危険であるが、黒沢尻工業高校までの歩道の計画があり少しずつ進められている状況である。

・国道4号線とそこに通じる幹線道路の未整備地域の早期整備や、工業地域と民地との境の問題など、計画をしっかりとみていく必要がある。

○その他

・子育て環境については、工業振興計画の中の工業振興の実施プロジェクトに企業における子育て支援推進事業の項目があり、市としても重要な課題と捉えている。土日の保育所の運営など、情報伝達の方法に工夫が必要である。

・北上市にずっと住んでいれば、市内の産婦人科、小児科の医院数は他市に比べて恵まれた方だと思っているが、転勤でいらした方にとっては心細い状況だという声を伺い、医療についての充実も企業誘致に必要なことだと思った。

・高等教育を受けた子どもたちが北上に戻って来るように育てるための環境づくりをしていかなければならない。

6 出席者

【産業建設常任委員会】

委員長	八重樫	七郎
副委員長	武田	勝
委員	川邊	津好
委員	高橋	光博
委員	星	俊和
委員	八重樫	善勝
委員	高橋	孝二
委員	鈴木	健二郎

【北上工業クラブ】

会長	谷村	久興
副会長	秋井	文夫
副会長	菊池	久男
理事	菊池	一二
理事	佐々木	宏
理事	佐藤	直也
理事	千田	富士夫
理事	土屋	文教
理事	西谷	重夫
監事	赤平	敏美
事務局長	本館	伸也

【議会事務局】

事務局長 昆 雅 幸
書記 小 原 昌 江